

2年3組「特別の教科 道徳」学習指導略案

1 主題名 「自分とちがっても」C-11 公正、公平、社会正義

2 教材名 「およげないりすさん」（出典：光村図書「どうとく2きみがいちばんひかるとき」）

3 ねらいとする価値について

人は、自分と異なる考え方や感じ方、多数でない立場や意見に対し、偏った見方をすることがある。自分と同質の考え方のみを受け入れ、異質なものを否定する傾向は、人のもつ弱さともいえる。そうした人間の弱さを克服し、公正、公平に人と関わっていこうとする態度を育てることが重要である。自分とは異なる個性をもつ友達を避けたり、遠ざけたりするのではなく、互いの違いを理解し、認め合うことで、異なる個性をもつ友達と仲良くすることの楽しさや、助け合うことの大切さについて考える。

4 本時の展開

○ねらい かめさんの背中に乗るりすさんの様子を見て、3匹が思ったことを考えることを通して、誰にでも公平に接しようとする実践意欲と態度を育てる。

	学習活動（○発問、☆中心発問）と児童の反応（・）	◇指導上の留意点 ※評価
導入	<p>1. イラストを見て、話し合う。</p> <p>○仲良くしているイラストと輪に入れずにいるイラストを見てどう感じますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループの友達は楽しそうだけど、1人の友達は寂しそう。 ・どうして入れてあげると言わないのかな。 	<p>◇状況を見た時の子ども達の率直な考えを引き出すためにデジタル黒板を活用し、イラストを提示することで視覚的に場面を捉えやすくする。</p>
	<p>自分とちがうところがあっても、なかよくすることの大切さについて考えよう。</p>	
展開	<p>2. 「およげないりすさん」を読み、話し合う。</p> <p>①島で遊んでいても、ちっとも楽しくない3匹は、どんな話をしたでしょう。演じてみましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・りすさんのことが気になって楽しくないよ。 ・りすさんは、嫌な気持ちかもしれないね。 ・泳げないから仲間外れはよくなかったな。 ・りすさんもいっしょに遊べる方法はないかな。 <p>②☆かめさんの背中に乗ったりりすさんの様子に、3匹は、どんなことを思ったでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・＜自分を中心に＞いっしょに遊べる方法を思いついてよかった、今日は楽しく遊べるぞ。 ・＜りすやみんなを中心に＞りすさんの気持ちを考えなくてごめんね。 ・＜りすやみんなを中心に＞みんな、うれしそうだからよかったな。 ・＜価値を中心に＞仲間外れをせず、みんなで仲良く遊べると気持ちがすっきりする。 	<p>◇役割演技の活動に入る前に、あひる、かめ、白鳥が、「泳げない」という理由で、りすを仲間に入れなかった状況を確認する。また、「『泳げないから、だめ。』と言われてたりすさんはどんなことを思ったでしょう。」と補助発問をし、仲間外れにされたりすの気持ちを想像させていく。</p> <p>◇①の役割演技で考えたことや挿絵などからそれぞれの思いを想像させる。</p> <p>◇幾つかの見方を立てて児童の反応を予測しておき、児童の発言で足りない見方があったときなど多様な考えを引き出せるように聞き返しをしていく。</p>
終末	<p>3. 「いやな気持ちかもしれないよ」を読み、みんなの気持ちを大切にすることについて考える。</p> <p>○これまでの生活を振り返って、いろいろな友達と過ごしていくにはどのような言葉がけや行動をしたらいいと思いますか。</p>	<p>※これまでの自分を振り返り、悪気のある・なしに関係なく、自分の言動や行動が友達の嫌な気持ちにさせていることはないか、生活の中で気にかけていくよう確認し合う。</p> <p style="text-align: right;">【ワークシート・発言】</p>